資料番号1

◆おおた高齢者施策推進プラン　令和7年度評価指標進捗状況◆

計画の進行管理及び評価指標について、第9期計画では以下の指標を評価指標として掲げております(おおた高齢者施策推進プラン P.139,140)。指標の評価結果と関わる個別事業の実績等を推進会議で報告し、確認・評価をいただきながら、スパイラルアップを進めていきます。

●基本目標1●　一人ひとりが生きがいや役割を持って輝けるまち

番号	指標	設定の主旨
1	高齢者人口に占めるシルバー人材センター会員数及び就業延人数	社会活動に参加する高齢者に対する支援の効果・状況を測る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○法人 HP の会員専用サイトに派遣事業や請負会社の情報を掲載し、仕事探しの効率化を図っており、広報戦略としてSNS(facebook,X)等の積極的な活用によって、入会説明・登録会の申込者数増加につながったと評価する。

令和6年度実績	・会員数　3,160 人(高齢者人口の 1.93%)　・就業延人員　205,920 人日
令和7年度実績	・会員数　3,240 人(高齢者人口の 1.98%)　・就業延人員　201,811 人日
令和8年度実績	

施策	施策1　高齢者の就労・地域活動の支援	施策を支える事業・取組	(3)シルバー人材センターへの支援

番号	指標	設定の主旨
2	絆サポートの利用件数	住民主体による生活支援に対する地域の理解度及び活用状況を確認する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○担い手となるボランティア数は増加している一方で、利用者数の減少が続いている。これまで地域包括支援センター全体会での活用依頼や交流研修会への参加呼びかけを行ってきたが、マッチングのさらなる促進が課題として挙げられる。そこで、令和8年度は委託業者と連携して地域包括支援センターに出向き、丁寧な説明を行い、意見交換の機会を設けることで利用者数の増加を目指す。

令和6年度実績	・利用件数　1,949 人　・利用回数　7,279 回
令和7年度実績	・利用件数　1,711 人　・利用回数　6,322 回
令和8年度実績	

施策	施策2　多様な主体による介護予防・生活支援の充実	施策を支える事業・取組	(2)住民主体のサービスの拡充

番号	指標	設定の主旨
3	介護予防の場にリハビリ等の専門職が参画している件数・箇所数	効果的・効率的な介護予防の実践に結び付けるため、専門職の関与を強化する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○前年度に引き続き、リハビリテーション専門職、東京都健康長寿医療センター、各地域包括支援センター、高齢福祉課にて情報共有会を実施し、連携を深めてきた。前年度よりも派遣件数、派遣時間ともに増加し、情報共有会も前年度と同回数実施できたため、リハビリテーション専門職の方々の地域への参加促進と、介護予防の普及啓発につながったと評価する。

令和6年度実績	・地域リハビリテーション活動支援事業　58 件（専門職を派遣した時間数　101h） ・各地域で情報共有会を実施（4回）
令和7年度実績	・地域リハビリテーション活動支援事業　79 件（専門職を派遣した時間数　143.5h） ・各地域で情報共有会を実施（4回）
令和8年度実績	

施策	施策3　介護予防・フレイル予防の推進	施策を支える事業・取組	(1)一般介護予防事業

番号	指標	設定の主旨
4	フレイル予防講座の参加者数	介護予防に取り組む高齢者や地域の担い手の拡充の状況を測る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○フレイル予防リーダー養成講座などの参加者数は前年を下回ったものの、フレイル予防個別支援事業者・団体向け養成講座においては大幅な参加者数の増加が見られた。また、フレイル予防専門職養成講座についても前年度と同程度の参加者数を維持している。これらを踏まえ、地域ぐるみでのフレイル予防のさらなる普及につながったと評価する。

令和6年度実績	・フレイル予防リーダー養成講座　28 人 ・フレイル予防実践講座　28 人（第1回　12 人、第2回　16 人） ・フレイル予防専門職養成講座　54 人（第1回　33 人、第2回　21 人） ・フレイル予防個別支援事業者、団体向け養成講座　43 人（第1回　13 人、第2回　3 人、第3回　19 人、第4回　8人）
令和7年度実績	・フレイル予防リーダー養成講座　22 人 ・フレイル予防実践講座　13 人 ・フレイル予防専門職養成講座　50 人（第1回　29 人、第2回　21 人） ・フレイル予防個別支援事業者、団体向け養成講座　138 人（第 1 回　47 人、第2回　91 人）
令和8年度実績	

施策	施策3　介護予防・フレイル予防の推進	施策を支える事業・取組	(2)おおたフレイル予防事業

●基本目標2●　サービスが必要になっても、自分らしい暮らし方を実現できるまち

番号	指標	設定の主旨
1	健康寿命の延伸	要介護2以上に認定される平均的な年齢により、介護予防・重度化防止に向けた取組状況を確認する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○前年度比でほぼ横ばいの健康寿命となった。東京都全体における要介護2以上健康寿命も大田区同様、ほぼ横ばい（男性82.81歳、女性86.06歳）

令和6年度実績	・男性　82.35 歳　/　女性　85.74 歳
令和7年度実績	・男性　82.37 歳　/　女性　85.70 歳
令和8年度実績	

施策	施策4　介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(7)機能訓練・口腔機能の向上等に向けた取組 (9)サービスの向上に向けた情報の提供・公表

番号	指標	設定の主旨
2	介護サービス従事者の定着率の向上（離職率の縮小）	介護人材の確保・育成・定着に向けた取組の効果を確認する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
調査実施に向け、調整中

令和6年度実績	・離
令和7年度実績	
令和8年度実績	

施策	施策4　介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(4)業務の効率化に向けた取組 (5)外国人人材を含む多様な人材の確保に向けた取組 (6)介護人材の定着・育成（資質向上）に向けた取組

番号	指標	設定の主旨
3	地域密着型サービスの介護基盤の整備状況	要介護者等の在宅生活を支援するサービスの充実度を測る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○令和6年度に選定した1施設については、令和8年3月に開設し、出来高分の補助金を交付した。令和7年度は1施設を選定したが、工事計画が遅延し出来高が発生しなかった。1施設が開設したこと、新規に1施設を選定したため、達成状況の評価は横ばいとする。

令和6年度実績	（整備費補助実績） ・認知症対応型グループホーム　1か所　令和7年3月開設（他、1か所選定、未着工） ・小規模多機能型居宅介護　　1か所　令和7年3月開設
令和7年度実績	（整備費補助実績） ・認知症対応型グループホーム　1か所　令和８年3月開設（他、1か所選定、未着工）
令和8年度実績	

施策	施策4　介護人材対策の推進とサービス基盤の充実・医療と介護の連携	施策を支える事業・取組	(1)地域密着型サービスの整備支援

●基本目標3●　住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

番号	指標	設定の主旨
1	見守りキーホルダー登録者数及び見守り推進事業者登録数	見守りキーホルダーの登録者数や見守り推進事業者の登録数の推移から、見守りネットワークの充実度を測る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由

○見守りキーホルダー事業については、チラシの配布や区公式Xでの広報のほか、地域包括支援センター主導での登録会に加えて、区主導による登録会も実施した。また、民生委員及び地域包括支援センター職員等による熱中症予防事業の訪問時などに、ひとり暮らし登録と併せて登録勧奨を実施した結果、登録件数の増加につながった。

○見守り推進事業者の登録については、ホームページでの広報を行っている。令和7年度は地域とつながりを持ち、見守りを含む活動を行っている事業者に対し、本事業の紹介等のアプローチを実施した結果、新規登録が2社となった。

令和6年度実績	・見守りキーホルダー登録件数　39,831 人（うち新規 4,689 人） ・見守り推進事業者登録数　48 社（うち新規1社、脱退1社）
令和7年度実績	・見守りキーホルダー登録件数　41,093人（うち新規 4,753 人） ・見守り推進事業者登録数　50 社（うち新規2社）
令和8年度実績	

施策	施策7　見守り体制の強化・推進	施策を支える事業・取組	(1)高齢者見守りネットワーク事業の充実

番号	指標	設定の主旨
2	個別避難計画の作成状況	災害時における高齢者の安全確保に資する体制の整備状況について確認する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由

○個別避難計画作成にあたり、事前調査で水害時のリスクが高い対象者の把握に努めるとともに、ケアマネジャーを対象に研修を実施し、より実行性の高い個別避難計画の作成を進めることができた。

令和6年度実績	・個別避難計画を新規または更新で作成した件数　237 件 （うち高齢者を対象とし、ケアマネジャーに委託して作成された件数　88 件）
令和7年度実績	・個別避難計画を新規または更新で作成した件数　58 件 （うち高齢者を対象とし、ケアマネジャーに委託して作成された件数　31 件）
令和8年度実績	

施策	施策8　災害時等に備える体制の強化	施策を支える事業・取組	(2)個別避難計画の作成

●基本目標4●　思いやりの気持ちで互いに助け合い、尊厳をもって暮らせるまち

番号	指標	設定の主旨
1	老いじたく事業への参加者数	事業を通じ、権利擁護・成年後見に対する区民への浸透度を測る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由

○老いじたくセミナーを令和7年度までに区内すべての18地域で実施した。また、令和2年度から老いじたく相談会、令和4年度から老いじたく講演会を開催している。この外に「老いじたくパンフレット」を増版し、区民の方へ老いじたくを考える機会や選択肢を拡充している。
○老いじたくの準備が進んだ区民向けに「老いじたく情報登録事業」を特別区でも先駆的に開始している。

令和6年度実績	・老いじたく相談会　86組　　・合同相談会　21 組 ・老いじたくセミナー　206 人　・老いじたく講演会　178 人
令和7年度実績	・老いじたく相談会　80組　　・合同相談会　23 組 ・老いじたくセミナー　179人　・老いじたく講演会　112人
令和8年度実績	

施策	施策9　権利擁護支援・個人の尊重	施策を支える事業・取組	(1)成年後見制度の利用促進 (2)老いじたくの推進

番号	指標	設定の主旨
2	地域ケア会議個別レベル会議の開催回数 ・支援困難ケース ・自立支援ケース	地域の方の参画と多職種連携により、地域課題の共有と解決及び自立支援等に向けた取組を推進する

目標		達成状況	

達成状況に対する理由

○個別レベル地域ケア会議を継続的に開催し、高齢者の個別課題解決に向けて多職種連携を行いながら適切な支援につなげると同時に、必要に応じて地域課題として取りまとめ、連続性を持って日常生活圏域レベル地域ケア会議の議題に挙げることができたと評価する。

令和6年度実績	・開催回数：84回（内訳：大森 39 回、調布 7 回、蒲田 34 回、糀谷・羽田 4 回） ・ケース件数：支援困難ケース　44 件、自立支援ケース　50 件
令和7年度実績	・開催回数：93 回（内訳：大森 46 回、調布 7 回、蒲田 33 回、糀谷・羽田 7 回） ・ケース件数：支援困難ケース 56 件、自立支援ケース 49 件
令和8年度実績	

施策	施策 11　地域共生社会を見据えた地域包括ケアの体制づくり	施策を支える事業・取組	(3)地域ケア会議の開催

番号	指標	設定の主旨
3	認知症サポーター養成講座及びステップアップ研修の受講者数	認知症の人とその家族も含めた地域での共生に向け、認知症に対する理解を深めるため、受講の推進を図る

目標		達成状況	

達成状況に対する理由
○小中学校への積極的なアプローチや、地域団体からの開催申込みが増加したことにより、令和7年度は、前年度と比較して認知症サポーター養成講座の開催回数、受講人数が増加した。若年層の認知症に関する理解が深まり、多世代のサポーターが生まれることによって、「認知症になっても安心して住み続けられるまち、おおた」の実現が着実に進んでいると評価する。

令和6年度実績	・認知症サポーター養成講座　63 回　1,488 人 ・ステップアップ講座　13 回　281 人 ※令和6年度より、「ステップアップ研修」から「ステップアップ講座」に名称変更
令和7年度実績	・認知症サポーター養成講座　76 回　2,167 人 ・ステップアップ講座　13 回　260 人
令和8年度実績	

施策	施策 12　共生と予防を軸とした認知症高齢者への支援	施策を支える事業・取組	(1)認知症サポーター養成講座事業